



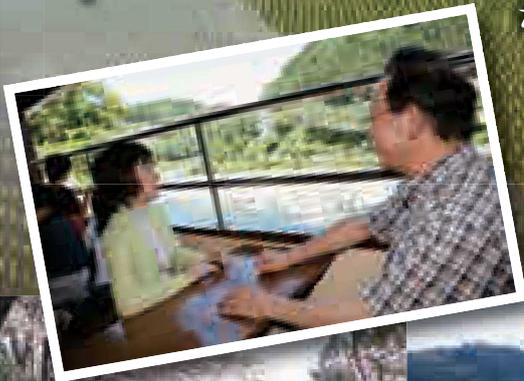
[わ鐵]ぶらり旅

プラス「みどり市笠懸エリアの旅」



子どものころ、大好きだった列車の旅。
 ガタン、ゴトンとリズムミカルにゆれる車体、レールの音、
 開け放った窓からは風が季節の香りを運んで…。
 外を流れゆく景色にいつまでも見とれていた。

あのころのわくわくした気分を
 もう一度味わいに、
 “大人の小旅行”に出かけましょう。
 車窓に広がる美しい風景画の中を、
 わたらせ渓谷鐵道はのんびりと走ります。



大間々駅

で降りたら……

初めて訪れたのに懐かしい、
昭和の香り漂うレトロな町が迎えてくれた。



桐生駅北端の1番ホーム。ここからわたらせ渓谷鐵道のアカがね色の車両に乗り込む。いよいよ旅の始まりだ。車内は赤いクロスシートがあたたかい雰囲気。列車は軽快な音を響かせて出発。渡良瀬川の鉄橋を渡り、2つ目の相老駅では東武線からの乗り換え客が乗り込んできた。そこからさらに2つ目の大間々駅で降りた。

大間々駅は、映画のロケ地にもなった木造のレトロな駅舎だ。駅から歩いて7分で、高津戸峡の

絶景を望む「ながめ公園」へ。園内は昭和初期の大衆劇場。廻り舞台や花道、二階席。楽屋には昔の役者が残した落書きも。地下の奈落は資料館。昭和初期のポスターなどに往時の様子が偲ばれる。余興場から高津戸橋を渡って名勝「高津戸峡」へ。新緑に映える渓谷美に心が洗われるよう。せせらぎの音を聞きながら遊歩道を行けば、ゴリラ岩、ポットホールなど見どころが次々に。はねたき橋から眺める渓谷もまたすばらしい。桜や紅



葉のころにもぜひ訪れてみたいスポットだ。
はねたき橋を渡ったら大間々の町なかへ。老舗のうどん屋で舌鼓をうち、大正や昭和初期の面影を色濃く残す町並みを歩いた。造り酒屋やレンガの煙突がある醤油屋、板塀の続く路地、ホウロウの看板、博物館……。子どもたちの思い出と重なる風景に出会って、懐かしさがぐつと胸に迫る旅となった。



おすすめ散策ルート



昭和の面影を残す町並み(みどり市大間々町)

⑤みどり市

大間々博物館 (コノドント館)
 建物は旧大間々銀行(大正10年建築)。恐竜の立体映像が見られる。
 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
 月曜日 (祝日の場合は翌日)
 大人200円 小・中学生50円
 0277-73-4123



山本屋のカレーうどん



いたくらやのコロッケ

④大間々商店街で昼食・休憩



⑥大間々商店街まち歩き

風情のある町並みをのんびりと

⑥大間々商店街

県下で最も古い醤油の醸造元・岡直三郎商店を筆頭に、造り酒屋などが並ぶ。



長寿軒のロールケーキ



美濃屋の焼きまんじゅう



小林米穀店の上州田舎のすいとん



大間々青柳のまゆの詩



梅月堂本店のみそまんじゅう

ちょっと寄り道

里見兄弟の悲劇を伝える山城の跡「要害山」へ登ってみよう！
 要害山ハイキングコースは1周約1時間で回れる楽なコース。ながめ公園から山頂まで標識に従って登ると、山頂まで約10分。展望台からは眼下にみどり市、周囲に上毛三山を一望する素晴らしい眺望が開ける。



③高津戸峡

深谷美は関東の耶馬溪とたたえられ、四季の自然を満喫できる景勝地。深谷に沿って遊歩道が続いている。



はねたき橋からの眺めは最高



深谷美を堪能しながら歩く



高津戸橋を渡り、遊歩道へ



要害山ハイキングコース入口

スタートゴール

②ながめ公園・ながめ余興場

高津戸峡を望む公園。
 ●ながめ公園さくらまつり：3月下旬~4月上旬
 ●関東菊花大会：10月下旬~11月下旬 [余興場見学]
 9:00~16:00 (入館は15:30まで)
 火曜日(祝日の場合は翌日)
 大人300円、小・中学生150円
 0277-72-1968



①トロッコ「わたらせ渓谷号」「わっしー号」

ガラス窓のない車両で深谷の自然をじかに感じられる人気列車。
 ●トロッコ「わたらせ渓谷号」 4月~11月運行 (運転日要確認)
 トロッコ「わっしー号」 通年運行
 [問い合わせ・予約] 0277-72-1117 (大間々駅)



コレは、はずせない! 大間々駅周辺の名産品

地酒

おいしい水と米から造った地酒はおみやげにもぴったり。



近藤酒造 清酒「赤城山」

手振りうどん

ふっくらもちもち、上州地粉



星野物産

にほんいち醤油

昔ながらの天然醸造・木桶仕込・大豆・小麦は有機栽培100%



岡直三郎商店

「わ鐵」ぶらり旅◆秋

ごうど

神戸駅

で降りたら……

おとぎ話に出てくるような山や川、
富弘さんの詩画の風景が広がっていた。



大間々駅から北へ、列車は紅葉に染まる渓谷沿いをひた走る。運転席の横に立ってレールを眺めながら心地よいゆれに身をまかせた。七曲りの難所と呼ばれる三つの短いトンネルをくぐりぬげ、上神梅、本宿を過ぎると古路瀬渓谷。車窓には山と渓谷が織りなす変化に満ちた風景が次々と間近に迫り、迫力満点。水沼、花輪、中野、小中と続き、神戸駅で降りる。

景が次々と間近に迫り、迫力満点。水沼、花輪、中野、小中と続き、神戸駅で降りる。神戸駅は、谷あいにある木造の小さな駅。列車を改造した「レストラン清流」で腹ごしらえして、富弘美術館まで秋の山里の景色の中をのんびり歩くことにした。



食堂車の雰囲気味わえる「レストラン清流」

駅を出たら、萬年橋、そして琴平トンネルへ。ここは旧足尾線の廃線跡。トンネルを抜けると、神秘的な青い水面を見せる渡良瀬川に沿って遊歩道が続いていた。わらべ橋を渡り、童謡ふるさと館へ。



山々に囲まれた趣のある駅舎

「つぎどこかめ」などで知られる作詞家・石原和二郎の直筆原稿などを見ながらちよつと休憩。そこから歩いて10分で柱戸の不動滝へ。ごうごうと滝音を響かせ

て落ちる落差25mの水柱は見ごたえ十分。紅葉に彩られた滝は格別だ。不動滝から草木ダムまでは上り坂を約20分。ダムの手前から歩いてきた道を振り返れば、疲れも吹き飛ばすほどの絶景が広がっていた。

ダムので堰堤を渡り、富弘美術館へと歩を進める。草木湖を望む美術館の周りの遊歩道を散策して、いよいよ館内へ。星野富弘さんが描いた水彩画と詩が、生きることの素晴らしさを教えてくれた。

帰りは市営バスで神戸駅まで。富弘さんの詩画に登場する「ふるさと」の景色を堪能し、山里の温かい人情に触れた旅だった。

⑦富弘美術館

●9:00~17:00
(入館は16:30まで)
●12月~3月の月曜日
(祝日の場合は翌日)
12月26日~1月4日
●大人500円
小・中学生300円
☎0277-95-6333



カフェ



草木湖を望む散策道
ダム湖百選にも選ばれた美しい湖。男体山を望む眺望も見事。富弘美術館の周辺には散策道があり、湖面近くまで下りられる。



③琴平トンネル
ここを走っていた列車に思いをはせる。



湖の眺めが素晴らしい

国道に沿って歩く

ダムまでもう一息

トンネル内では足元に気をつけて

のどかな山里を歩く

橋からの溪谷を眺める

ここでちょっと一休み

ダムまでもう一息

水の広場

わらべ工房

滝の上橋

滝の上橋

童謡ふるさと館

(12月~2月休館)

ここでちょっと一休み



これは、はずせない!
草木湖周辺の名産品



舞茸せんべい
地元の舞茸を生地に練り込んだ「舞茸せんべい」。草木ドライブイン内で製造販売。
☎草木ドライブイン ☎0277-95-6136
☎有限会社 天堂 ☎0277-95-6130



よもぎまんじゅう
厳選されたよもぎをふんだんに使い、北海道産小豆と合わせ美味しく蒸し上げたまんじゅう。食べた瞬間によもぎの香りが口いっぱいになり、モチモチとした食感も好評。
☎草木ドライブイン ☎0277-95-6136



山椒の果皮
東町沢入地区の森に自生する山椒の実を1つ1つ手作業で加工したスパイスは「山の幸」そのもの。香りが強く、長持ちする。
☎国民宿舎サンレイク草木、みどり市東町農産物直売所
☎シャロムの森 ☎0277-95-6153



④童謡ふるさと館
石原和三郎の直筆原稿のほか、童謡パネルやスライド映像なども。
●9:00~17:00(入館は16:30まで)
●月曜日(祝日の場合は翌日)、12月1日~2月末日
●中学生以上200円、4才~小学生100円
☎0277-97-3008

ちょっと寄り道

富弘さんが車いすで散策した「鈴の鳴る道」を歩こう!
神戸駅から徒歩約15分で「鈴の鳴る道」へ。詩画集「鈴の鳴る道」の世界を実感できる散策路。(散策所要時間約30分~60分)



おすすめ散策ルート

「わ鐵」ぶらり旅
はなわ

花輪駅

で降りたら...

あかがね街道の名残と、
のどかな田園風景に
出会った。

大間々駅から4つ目。温泉センターで有名な水沼駅の次が、うさぎとかめの石像がある花輪駅。ここで降りたら、かつてあかがね街道の宿場町として栄えていたころの面影を残す花輪宿の町並みを歩いてみたい。



①御用銅蔵
江戸へ送る御用銅を保管した蔵。
(花輪駅から約4分)

②花輪宿散策
足尾銅山の銅を江戸へ送る際の銅街道の宿場町として栄えた町並みは、情緒たっぷり。
(所要時間約15分~50分)



③今泉嘉一郎の生家
日本鋼管創設者の一人で、日本近代製鉄の父・今泉嘉一郎氏の生家。(花輪駅から約3分)



12月~2月はイルミネーションの旅が楽しめる

④旧花輪小学校記念館
今泉嘉一郎の寄付により昭和6年に建てられた木造校舎。現在は国の登録有形文化財。石原和三郎、今泉嘉一郎の資料のほか、昔の花輪駅の柱時計や、旧草木駅ホームの駅名表示板、手持ち式の信号灯などを展示。(花輪駅から約3分)(見学所要時間約30分)
●土曜日・日曜日 10:00~16:00
●無料 ●0277-97-2622



「わ鐵」ぶらり旅
そうり

沢入駅

で降りたら...

あじさい祭り
7月中旬、2,200株のあじさいがお出迎え。模擬店やライトアップなどのイベントも開催。



②陶器と良寛書の館
地元の実業家・松嶋健壽氏が収集したコレクションを一般公開。日本各地や東南アジアの陶磁器や良寛の扇面などを展示している。
●10:00~16:00(入館は15:30まで) ●月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 ●大人300円、小・中学生200円 ●0277-95-6565



①沢入古民家
(●印=主な古民家の位置)
石材業や林業で栄えた沢入地区には、趣のある古民家が点在し、大正期や昭和初期の民家の風情が味わえる。

あじさいの小路や古民家の家並みがあった。
神戸駅を過ぎると列車は草木トンネルを抜け、草木湖を望んで鉄橋を渡る。さらに短いトンネルを抜けて沢入駅に到着する。

沢入駅は静かな山間の駅。温かみのある昔ながらの待合室は必見。あじさいが見ごろとなる7月中旬には「あじさい祭り」が開かれる。あかがね街道の趣が残る石畳の道を散策するのもおすすめ。





足尾

「わ鐵」ぶらり旅
あし
お
で降りたら...

間藤駅

鉄道ファンには宮脇俊三氏の『時刻表2万キロ』国鉄全線完乗の終着駅として知られる。ここから先も貨物専用駅だった足尾本山駅まで旧足尾線の軌道が続いている。銅山の面影を探して、廃線となった軌道の上を歩くのも楽しい。(一部通行禁止区域もあり)



足尾駅

下り間藤方面ホーム側には留置線があり、貨物が盛んな頃は機関車などが留置された。駅前からJR日光駅行きの路線バスが1日6本接続する。



往時の面影を残す家並み

②古河掛水倶楽部



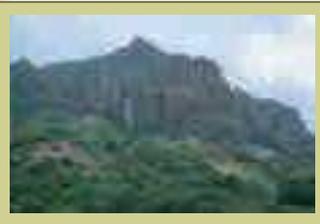
②古河掛水倶楽部 (最寄駅:足尾)

足尾銅山の隆盛期、政府高官などを招く迎賓館として使われていた建物。土・日・祝日には内部を一般公開する。
●土・日・祝日 10:00~15:00 (平日は要予約)
●11月下旬~3月下旬
●大人400円、小・中学生200円
●平日 0288-93-3255
●土・日・祝日 0288-93-2015



ちょっと寄り道

切り立った岩壁が天をつき荒涼とした風景が続く松木溪谷
イヌワシやオオタカなどの猛禽類や、国の天然記念物ニホンカモシカの生息地としても知られる。松木溪谷(一般車両通行止め)の入口となる「銅親水公園」までは、通洞駅前からタクシーで約20分。



①足尾銅山観光



足尾駅から東武日光駅・JR日光駅まで、日光市営バスで約50分(1日6本運行)



ますやのコロケ

通洞駅にある肉店。コロケが有名で、揚げたての熱々を何もつけずにほおぼるのがおすすめ。じゃがいもの甘みとラードのコクがマッチした懐かしい味。
●0288-93-2308

①足尾銅山観光

(最寄駅:通洞)
「日本一の鉱都」と呼ばれた足尾銅山を再現した坑内観光。400年の歴史がよみがえる。
●9:00~16:30
●年中無休
●大人820円 小・中学生410円
●0288-93-3240



銅で栄えた町の産業遺産に感動した。
沢入駅を過ぎると、渓谷は白御影石の美しい川床が見られるようになる。県境の笠松トンネルを抜け、原向駅を過ぎると、いよいよ銅山のまち・足尾だ。南北に長い町筋に沿って原向、通洞、足尾、間藤の4つの駅が続く。鉱都として栄えた頃の面影をたどって歩こう。

④旧花輪小学校記念館



③今泉嘉一郎の家

②花輪宿

①御用銅蔵



「わ鐵」ばりり旅にプラスして

JR両毛線

いわじゅく

岩宿駅

で降りたら...

わたらせ渓谷鐵道桐生駅からJR両毛線なりに乗り換えて約5分、1つ目の岩宿駅で降りたら、岩宿遺跡のある笠懸エリアに到着する。ここは、源頼朝が「笠懸」の武技に感激して「笠懸野」と名づけたといわれる地。あかがね街道や用水路を整備した岡上景能公ゆかりの地でもある。わ鐵の旅にプラスして、歴史ロマンを訪ねる寄り道はいかが。

①岩宿遺跡・岩宿ドーム
日本に旧石器時代の文化が存在することを初めて証明した遺跡。ドーム内では地層断面が見られる。



②岩宿博物館
岩宿遺跡から発掘された石器やマンモスの骨格レプリカなどを展示。古代料理体験も人気。
●9:30~17:00(入館は16:30まで)
●月曜日(祝日の場合は翌日)
●一般300円、高校生200円、小中学生100円
●0277-76-1701



⑦岡上景能公の銅像
笠懸周辺の荒地の造成や用水路の開削などに貢献した郷土の偉人。



とまとクラブのみどりのトマトパウンドケーキ



③ひまわりの花畑
9月下旬から10月中旬にかけて約12万本のひまわりが開花。野菜の直売や各種アトラクションが催される。



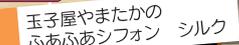
文屋大塚の岩宿遺跡の石器サブレ



④清水新沼
雄大な赤城山を望む貯水池。遊歩道やせせらぎ水路が整備され、春は菜の花、秋はソバの花で彩られる。



玉子屋やまたかのふあふあシフォン



笠懸名産
笠懸エリアでは、トマトやナス、ブルーベリーや柿など野菜や果物をたくさん生産している。なかでもトマトは県内トップクラスの生産量を誇る。



⑤鹿の川沼
岡上景能公の発案で引いた岡登用水のため池。3月下旬から4月上旬には岩宿の里「カタクリさくらまつり」を開催。



⑥大間々扇状地展望台
展望台から扇状地の地形が見られる。



ちょっと寄り道
「ボートレース桐生」で大迫力のレースを楽しもう！関東唯一のナイターレースがある競艇場。水面を豪快なスピードで走りぬけるボートは見るだけでも爽快！岩宿駅から徒歩約15分。ボートレース桐生 0277-76-2411



●お問い合わせ



みどり市 観光課

〒376-0192 群馬県みどり市大間々町大間々1511

TEL.0277-76-1270 FAX.0277-76-9049 <http://www.city.midori.gunma.jp>